

2022 年12 月22日

各位

三洋貿易株式会社

取締役社長 新谷正伸

取締役会の実効性に関する自己評価結果

当社では取締役会の実効性評価のためのアンケート調査を実施致しました。
その分析結果の概要につき下記の通りお知らせ致します。

1. アンケートの実施要領

対象者：取締役10 名（内社外取締役4 名（内監査等委員2 名））

方式：記名式アンケート

各設問に対する選択及び自由記述

実施期間：2022年12月5日～12月15日

アンケート項目：①取締役会の構成

②取締役会の運営

③経営全般に関する実効性

2. 分析・評価の結果

① 取締役会の構成

当社取締役会の人数、構成、社外取締役の人数・割合および監査等委員の人数・割合は概ね適切であり、経営上の重要な意思決定および業務執行の監査・監督を適性に行うための体制は整っている事を確認致しました。

② 取締役会の運営

取締役会の開催頻度、上程議案の数、取締役会資料の内容、議長の議事進行、事務局の運営などは概ね適切に行われており、取締役会では社外取締役（監査等委員を含む）も含めて自由闊達な意見交換が行われていることが確認されました。

③ 経営全般に関する実効性

取締役の各種研修の機会の提供、取締役間の意思の疎通、内部監査室との連携などに特段の問題はない事を確認致しました。

また、IR や情報管理も概ね適切に行われている事を確認致しました。

昨年度、課題としていました投資対象（事業）に対するモニタリング強化に関しましては、過去の投資先に対する投資効果の検証を取締役会で行うほか、特定の事業投資先の状況については責任者を取締役会に陪席させて説明を受けるなど現況把握に努めましたが、更なる事業フォローアップが必要な投資先もあるため、引き続き検討・改善を図る所存です。

また、課題としていました開示情報の充実への取組みに関しましては、ホームページリニューアルや英文での決算短信や招集通知を開示するなど実施し、今後も引き続き開示情報の充実に努めてまいります。

その他、課題としていましたより効率的な取締役会運営方法の検討に関しましては、新たに取締役懇話会の新設や、社外取締役による国内子会社訪問を実施するなど、社外取締役と当社ならびに当社グループ会社との議論の機会をより充実することによりモニタリングの強化を図りました。

3. 今後の対応

上記分析・評価の結果、当社取締役会は概ね適切に行われているものの認識ではありますが、より実効性の高い取締役会とするため、以下につきまして引き続き検討・改善を図ってまいります。

- * 投資対象（事業）に対するモニタリング強化
- * 開示情報の充実への取組み

以上